

2018年3月期 第1四半期決算 ～補足資料～

マルコ株式会社

(東京証券取引所 市場第2部 証券コード9980)

- 1. 第1四半期としては、9期ぶりに黒字化達成**
- 2. マルコクレジット（自社割賦）の導入など
お客様のニーズを捉えた諸施策による業績拡大**
- 3. 大規模な成長投資の実行、及び
RIZAPグループとの連携強化により
成長スピードを加速**
- 4. 第2四半期累計は、
4期ぶりの黒字化・大幅増益の見込み**
(連結営業利益見込 500百万円、前期比+742百万円)

1. 2018年3月期 第1四半期業績

マルコクレジットや販売促進など諸施策が奏功し売上拡大
さらに、経費の見直しを継続的に促進した結果
第1四半期としては、**9期ぶりに黒字化達成**

(百万円、%)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	2,675	3,398	 +723	+27.0
売上総利益	1,058	1,660	 +602	+56.9
営業利益	△690	42	 +732	-
経常利益	△675	68	 +743	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△898	345	 +1,243	-

※増減額及び増減率は、表上計算しております。

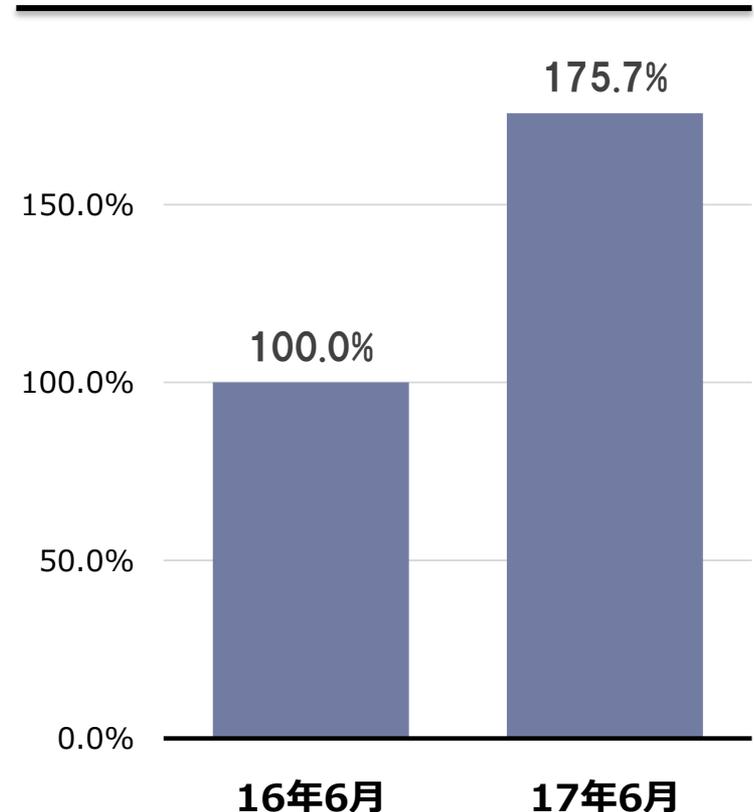
■ お客様のご購入時のご負担を軽減を
目的に本年6月より導入

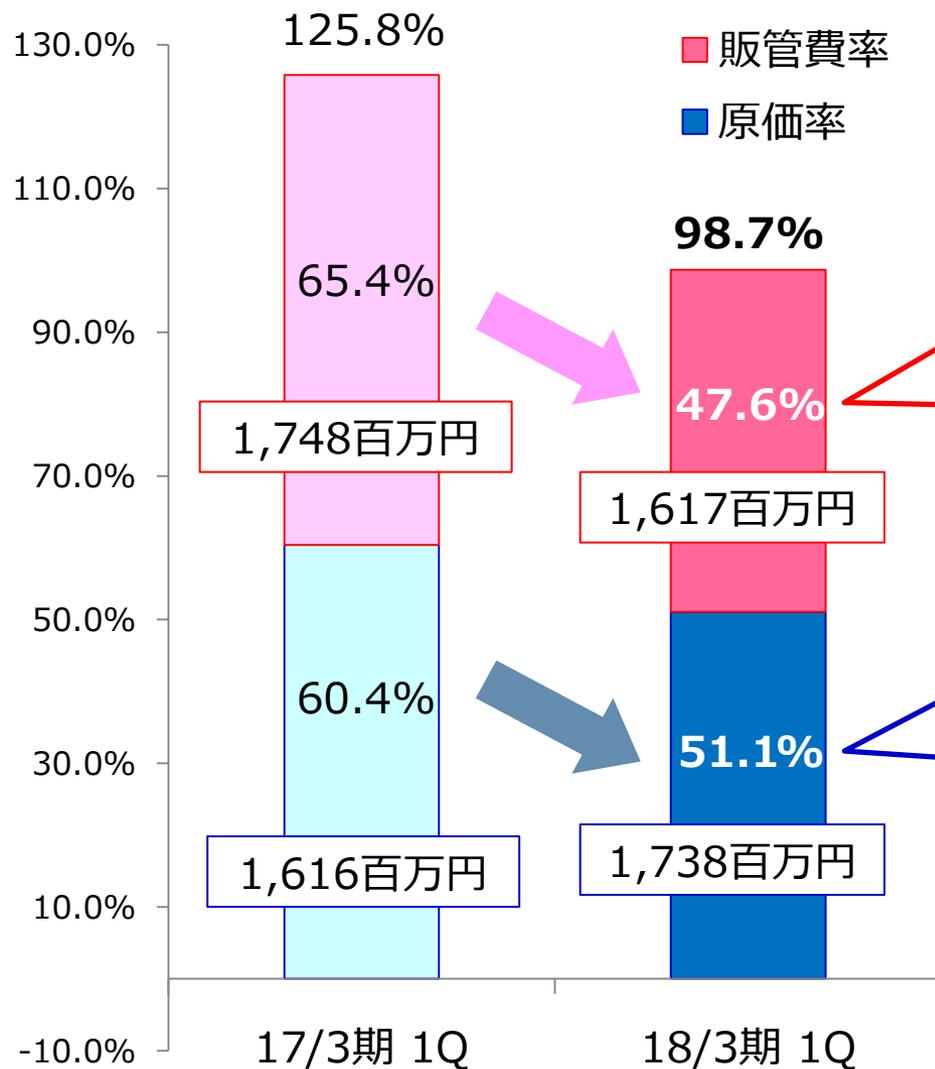
■ マルコクレジット導入により、販売促進施策
との相乗効果を創出

6月度月次売上高は前年対比**175.7%**を達成

■ 今後、マルコクレジットの活用による販売促進
活動を強化するとともに、クレジット事業として
拡大を促進

月次売上高の比較
(2016年6月を100%とした場合)





原価率、販管費率ともに大幅に改善

<販管費の主な改善点>

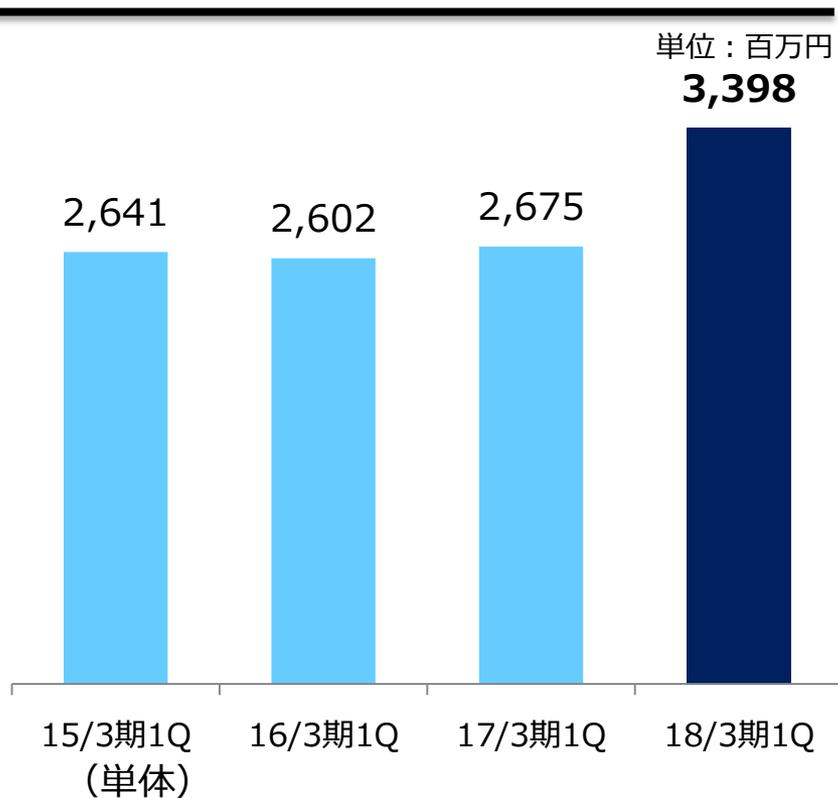
- ・徹底した経費の見直しによる改善を推進
- ・業務改善による従業員一人当たり生産性が向上
- ・店舗統合等による運営経費の抑制

<原価の主な改善点>

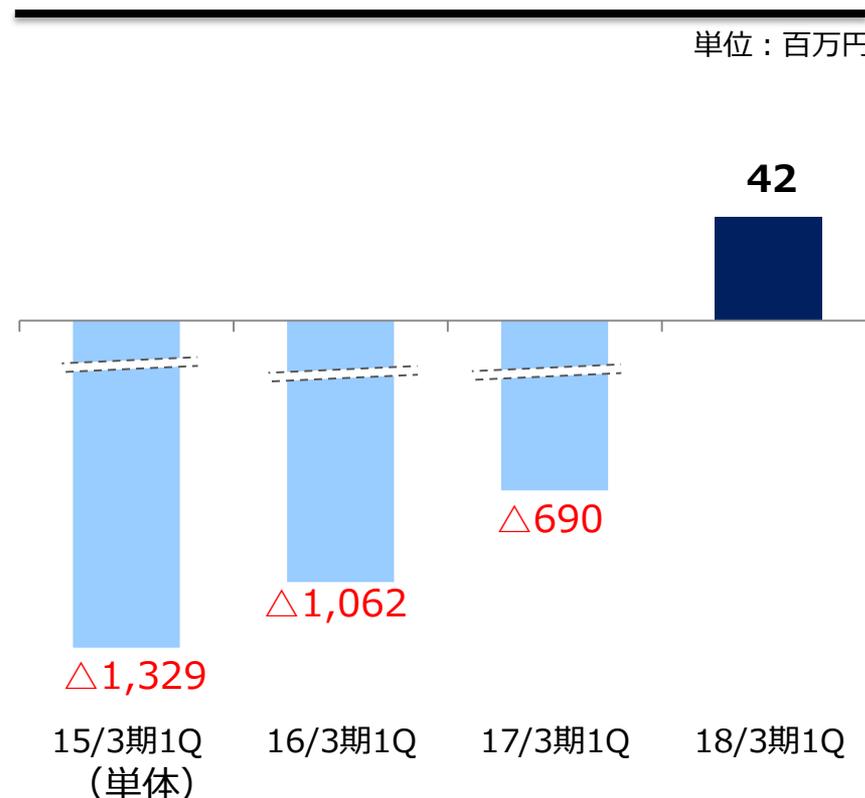
- ・商品仕入れ原価率の改善
- ・販売職社員の一人当たり生産性の向上

マルコクレジットや販売促進など諸施策が奏功し売上拡大
 さらに、経費の見直しを継続的に促進した結果
 第1四半期としては、**9期ぶりに黒字化達成**

売上高



営業利益



(百万円)

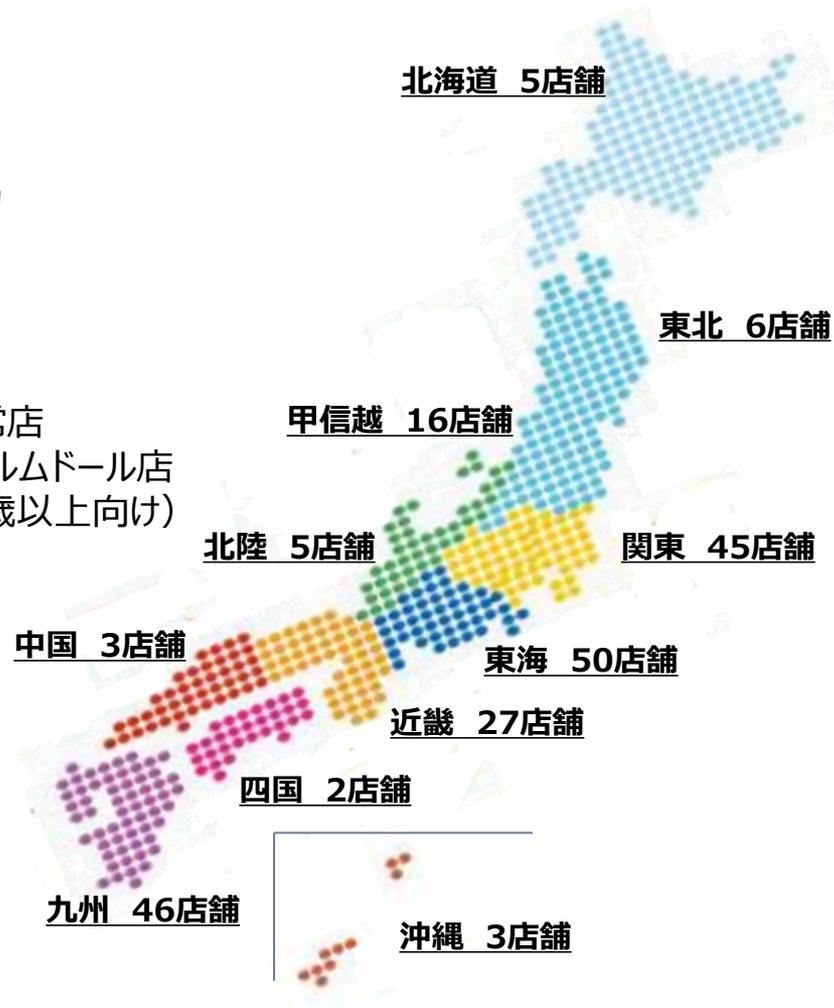
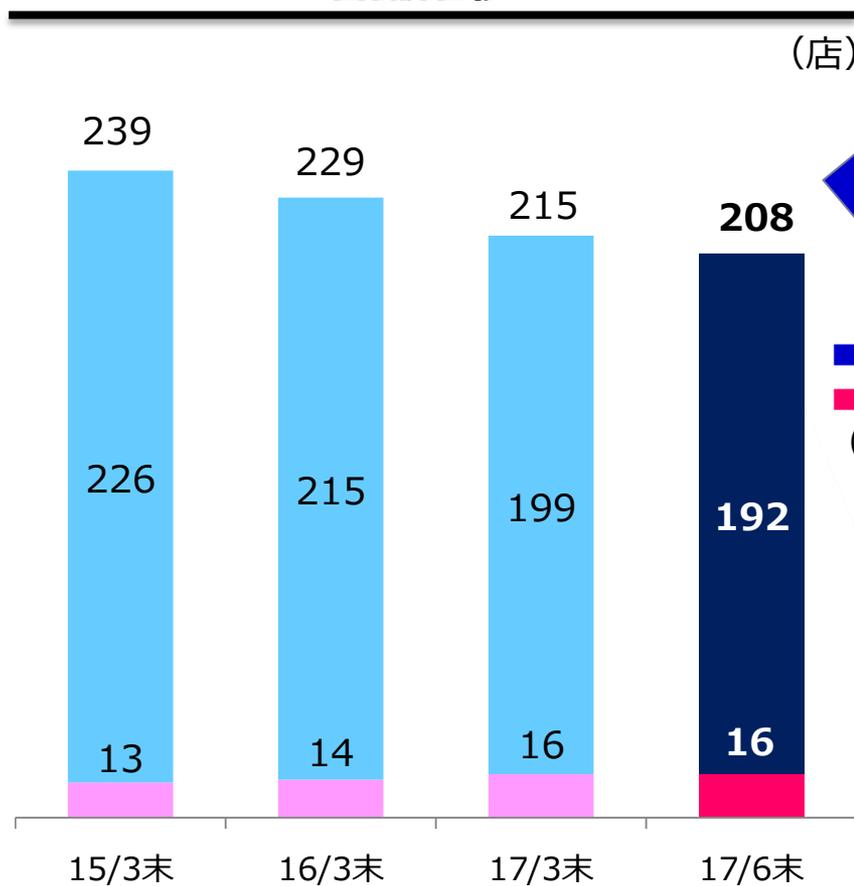
資産の部	2017/3末	2017/6末	増減額	負債・純資産の部	2017/3末	2017/6末	増減額
流動資産	7,497	7,357	△140	流動負債	2,926	2,724	△202
固定資産	4,075	4,259	184	固定負債	551	385	△166
資産合計	11,572	11,616	44	純資産	8,094	8,506	412
				負債・純資産合計	11,572	11,616	44

※前期末との増減額は、表上計算しております。

自己資本比率 69.9% → **73.2%**

新規出店準備と並行し、店舗統合等による店舗効率向上を促進

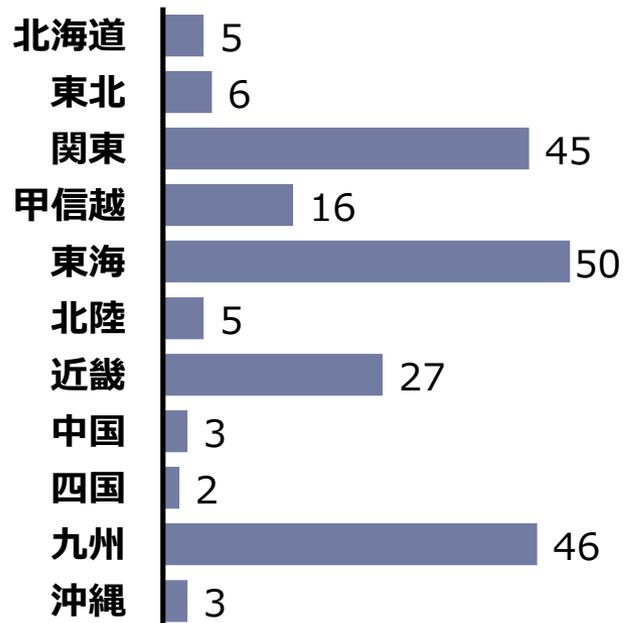
店舗推移



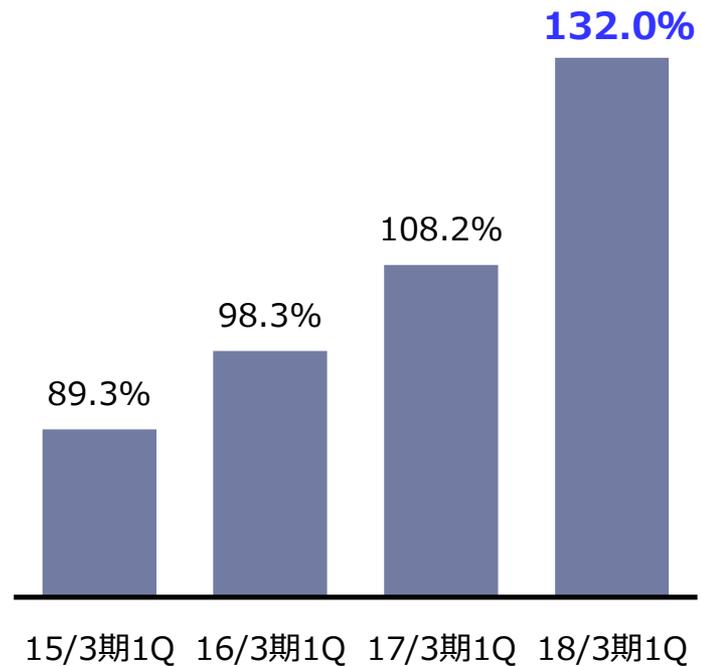
新規出店準備と並行し、店舗統合等による店舗効率向上を促進

地域別の店舗数

(2017年6月末：総店舗数 208)



1店舗当たり平均月商前年比



2. 2018年3月期 第2四半期累計業績見通し

中長期的な成長基盤づくりのための戦略的投資を先行的に実施
 一方、経費見直しを継続的に実施し
 第2四半期累計としては、**4期ぶりの黒字化・大幅増益の見込み**

(百万円、%)

	2017年3月期 2Q累計	2018年3月期 2Q累計	増減額	増減率
売上高	6,566	7,300 	+734	+11.2
営業利益	△242	500 	+742	—
経常利益	△212	480 	+692	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△73	700 	+773	—

※増減額及び増減率は、表上計算しております。

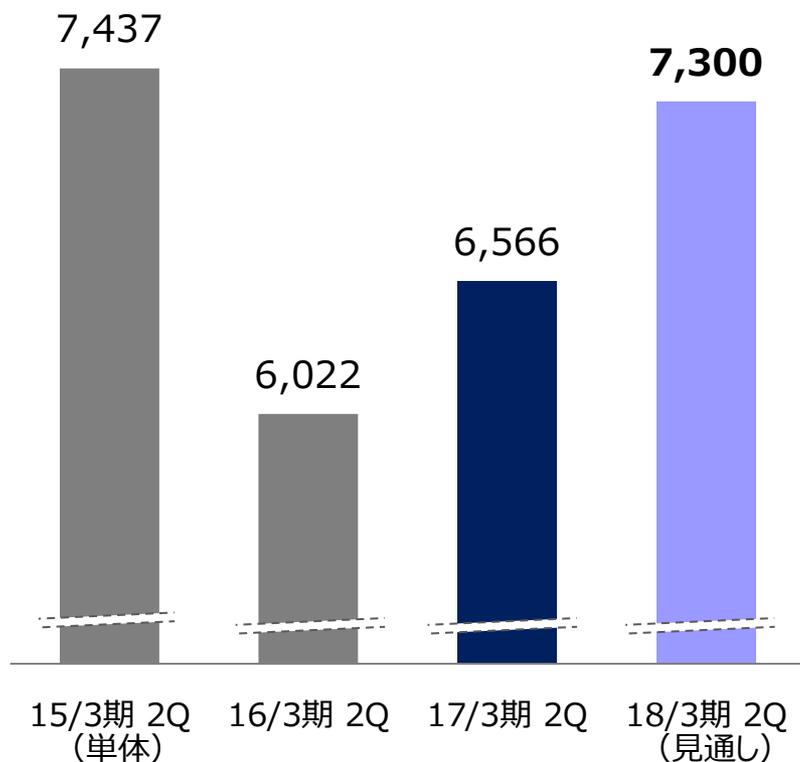
第2四半期累計業績の推移

中長期的な成長基盤づくりのための戦略的投資を先行的に実施
 一方、経費見直しを継続的に実施し

第2四半期累計としては、**4期ぶりの黒字化・大幅増益の見込み**

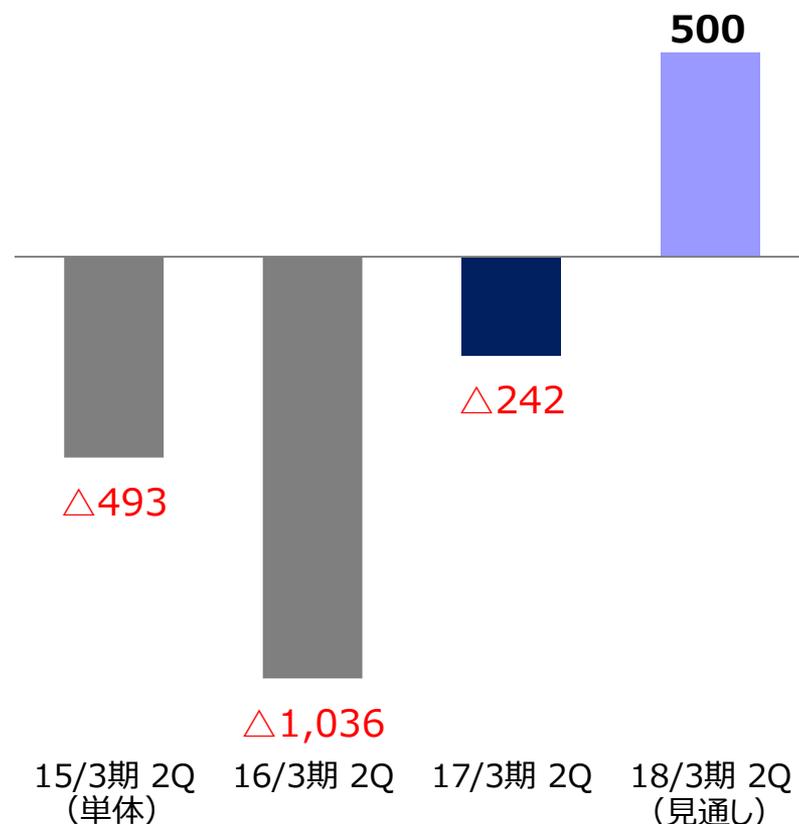
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



3. 2018年3月期 業績見通し

今期 大幅増益を達成し、成長路線へ転換

(百万円、%)

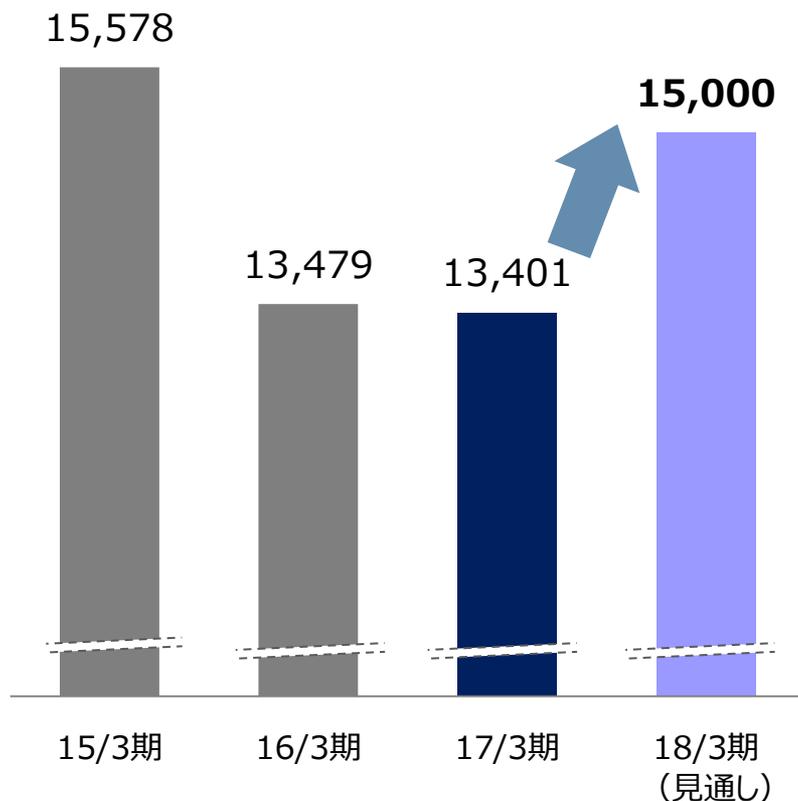
	2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
売上高	13,401	15,000	 +1,599	+11.9
売上総利益	6,586	8,000	 +1,414	+21.5
営業利益	135	1,200	 +1,065	+788.9
経常利益	127	1,300	 +1,173	+923.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	268	1,100	 +832	+310.4

※増減額及び増減率は、表上計算しております。

『Maruko Reborn Project』～V字回復から成長軌道へ～ ＜RIZAPグループとの連携・成長分野への積極投資により成長スピードを加速＞

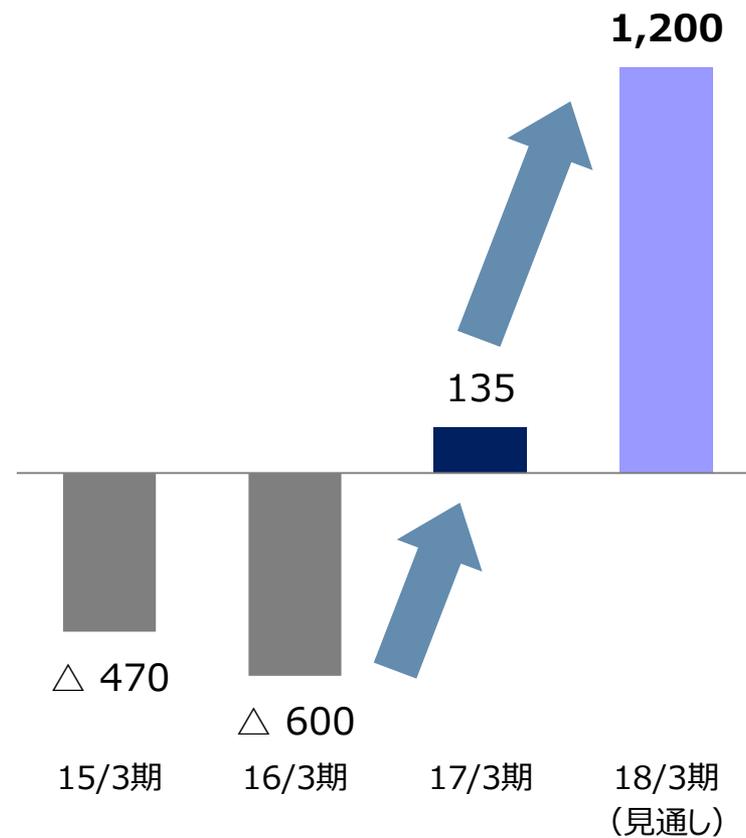
売上高

単位：百万円

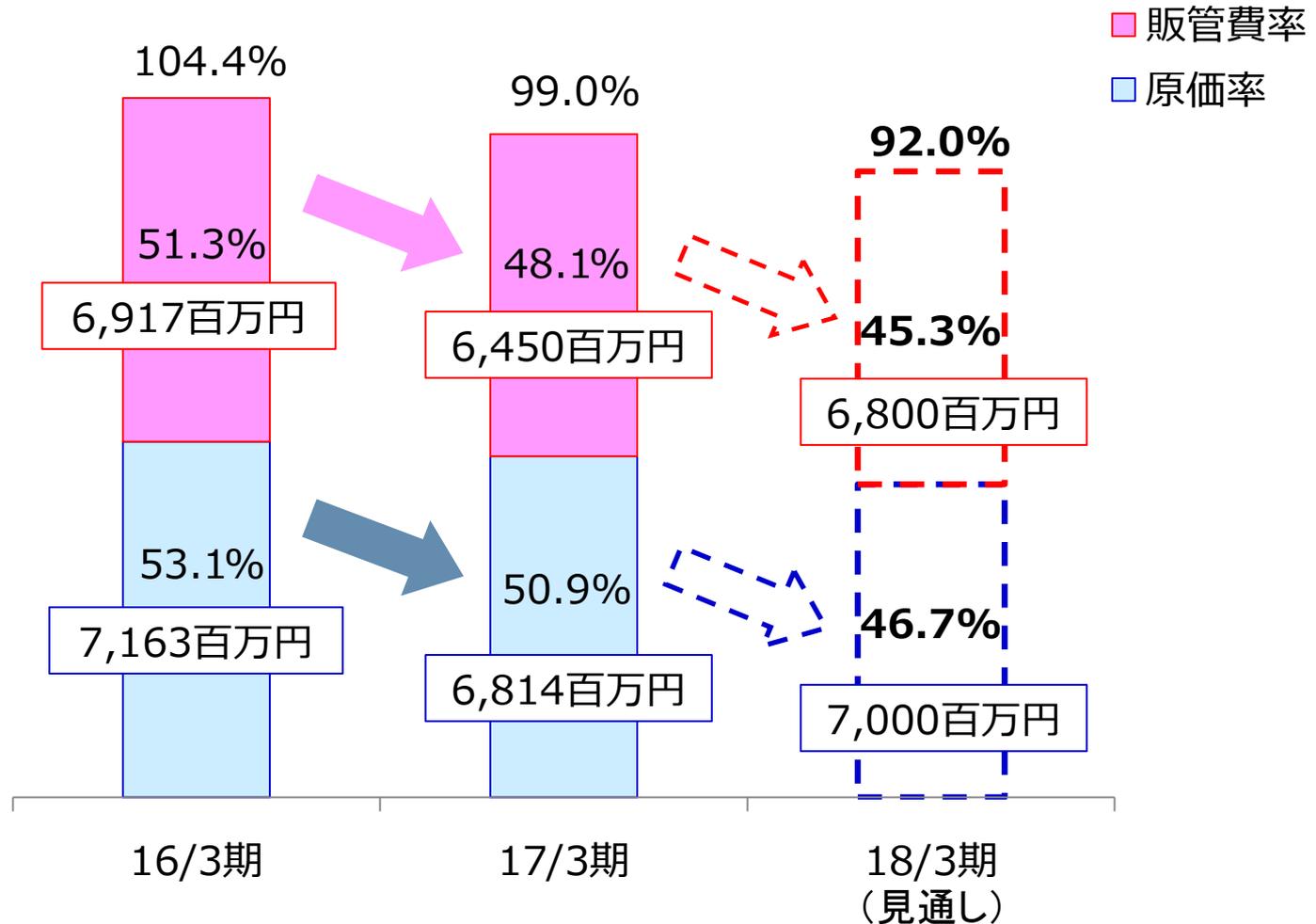


営業利益

単位：百万円



成長分野への投資強化等により金額は増加するも、コスト構造改革を継続し、原価率、販管費率の低減を促進



『Maruko Reborn Project』～V字回復から成長軌道へ～ ＜RIZAPグループとの連携・成長分野への積極投資により成長スピードを加速＞

I.収益力の強化

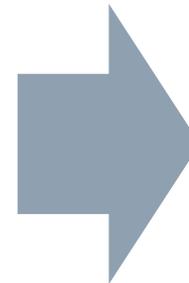
- ・コスト構造改革の継続により、成長への投資余力を確保

II.集客力の向上・購入機会の拡大

- ・広告展開の強化
- ・新商品、関連事業の開発推進
- ・RIZAPグループとの相互送客の推進
- ・マルコクレジット（自社割賦）の利用促進

III.販売力の強化

- ・店舗営業力（教育・人員・店舗開発）の強化
- ・中国等の富裕層を中心に海外展開



戦略的投資

50億円以上
(3年間)

RIZAPグループとの主な取り組み

① インフォマーシャル等、広告宣伝による新規顧客の獲得を促進



- インフォマーシャルによる集客パターンの早期確立など、RIZAPマーケティングノウハウの活用
- RIZAPのCM制作チームによるテレビCMを年内放送に向け準備中

② RIZAPをはじめとするグループ各社との相互送客の実現

- 相互送客プログラムの早期確立に向け、プロジェクトが始動

③ RIZAPグループとのコラボ商品開発による商品力の拡充

- グループ各社の商品やノウハウ、ブランドの融合によるコラボ商品開発

配当（復配）予想

	第2四半期末	期末
2018年3月期	—	1円00銭

- 継続的に配当を実施できる収益基盤のもと復配を見込んでおります。今後、より一層の業績拡大を図り増配を目指してまいります。

株主優待制度の充実

2017年9月末の株主名簿に記載の株主様より下記の新制度へ

保有株数	優待内容	保有株数	優待内容
100株以上	RIZAPグループ商品（2,000円相当） + マルコ20%割引券1枚	800株以上	RIZAPグループ商品（12,000円相当） + マルコ20%割引券1枚
200株以上	RIZAPグループ商品（3,000円相当） + マルコ20%割引券1枚	1,200株以上	RIZAPグループ商品（15,000円相当） + マルコ20%割引券1枚
400株以上	RIZAPグループ商品（6,000円相当） + マルコ20%割引券1枚	2,000株以上	RIZAPグループ商品（18,000円相当） + マルコ20%割引券1枚
権利確定日	年2回（9月末および3月末）		

■ 優待利回り（年間） / 8.4% + α（マルコ割引分）

※株価476円（2017年7月28日終値）×100株保有時、RIZAPグループ商品優待分（年間4,000円分）で算出。

免 責 事 項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。